

大伴小だより

2月号

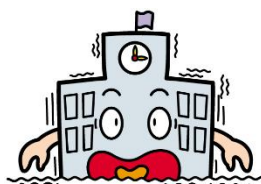


富田林市立大伴小学校

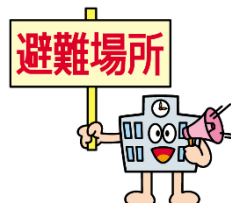
校長 釜坂 佳成

富田林市南大伴町一丁目2番20号

0721-24-3104



想像から“備え”へ!



いちがついついたち いしかわけん しんど じしん お
1月1日に石川県で震度7の地震が起きました

た。震度7という揺れは、まったく想像できませんね

(ちなみに震度5弱で学校は休校となります)。立ってられない……、しゃがんでも地面そのものが大きく揺れている……、そして周りの建物が崩れ落ちていく……。そんな中で死者は200名を超えました(ご冥福をお祈りして始業式にみんなで黙とうしましたね)。多くの建物が倒壊し、いまだに2万人以上が電気やガス、水道も復旧しない中で避難生活を送っています。

電気やガス、水道のない生活って想像できますか? 夜……真っ暗です。トイレ……流れません。お風呂……入れません。洗濯・歯磨き……できません。ご飯……作れません。たいへなことですね。そして、石川県では多くの学校が避難所になっていて、勉強や運動ができない子がたくさんいます。体育館や教室で地域の人たちが不便な暮らしを送っているのです。日本全国(富田林市も消防隊がすぐに駆けつけたそうです)から支援ボランティアが現地入りしていますが、まだまだ“日常”を取り戻すには時間がかかりそうです。



さて、このようにたいへんな状況が続いている中、私たちの“備え”を

考えてみましょう。大伴小学校は富田林市の避難場所に指定されていて、

倉庫には非常用グッズ(毛布や食料など)を備蓄していますし、トイレや炊

き出し用のかまどなども設置できるようになっています。先生たちや児童のみ

なさんも避難訓練していますね。地震は学校にいる時間に起こるとは限りませ

ん。どこであっても、第一にすることは「**自分の体(命)を守ること**」です。そのために「**倒**

れるおそれのあいさうなものからは離れて立ち止まり、頭を守ること」を忘れずに、落

ち着いて行動するようにしましょう。それからもう一つ。家にいる時に地震

が起きた場合どうするかをおうちのひとと話して決めておいてくださいね。

離れ離れになってしまったら、どこで集合するとか、ね。そうすればいざと

いう時にでもちょっと安心できますから。

